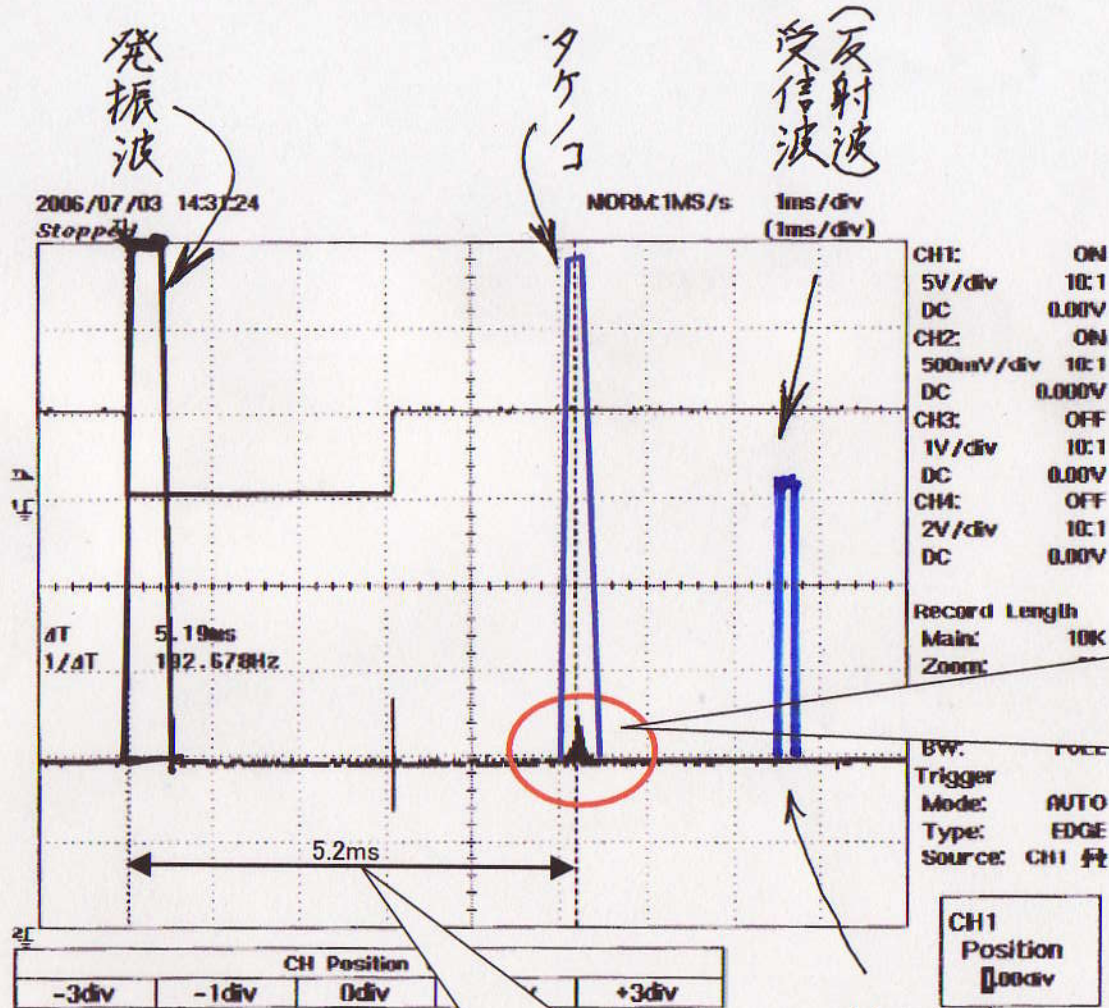


H.19.8.26.



※タケノコは、通常は成長することなく不感距離のフェイント先でチヨロチヨロとしているが、ケースなどに入れると多重反射し易い、収束時)急に成長し、

検出しなくなる。

反射板を使用する場合も、反射板の材質・厚み・大きさなどの条件により大きく伸びて反射波(受信波)がより大きくなり、ロック状態(検出しなくなる)になります。

・この波形はセンサ自体を毛布にくるみ、反射波の影響受けない状態で、必ず出ています。  
・また、この受信波のようなものは、アオ線のように大きく変動します。変動の大きさは、完全な受信波とみなし受信出力をします。  
↓  
これより、この時間帯の受信増幅率が異常に高く感じるのですが、増幅率に問題ないか確認ください。

この0~5ms間はデットバンドとして受信波を受付けないように感じてますが、5ms以降直後に必ず、アカOの受信波のような波形がある。

検出対象物の大きさ(反射波の強さ)によって高さ・幅は異なってくる。